

●江戸時代に干拓した土地●

宮沖新開

しんがい

宮沖町は、干拓ででき
た土地なんですね。



現在の宮沖町、宮浦町、
たんじや。江戸時代の170
0年ごろ、地震や水害が続い
て起き、人々は大凶作に苦し
んだんじや。そこで、城主の
浅野忠義が農地を確保するた
めに陸地を広げたんじやよ。

タコ博士、第三中学校
に石碑がありました。あれ
は何ですか？

宮沖の大南蛮樋門と
いつて、ヨーロッパ式の
水門の一部じや。海水をせき止
めるために使われていたんじや。



どうやって海を陸地に
したのですか？

広い範囲を干拓したん
です。

この地図を見てごらん。

陸地にしたい部分を堤
防や水門で囲い、満ち潮
のときは門を開じて海水を
入れないで、引き潮のときに
は門を開けて海水を出して、海
水を抜き取るんじや。そうす
ると、土地が干上がつて陸地
になるんじや。これを干拓と
いうんじやよ。



干拓地や埋立地が現在
のまちの基になっている
んですね。

何のために海水をせき
止めたのですか？

海を陸地にするため
じやよ。第三中学校があ
る宮沖町は、もともと海だつ

に石碑がありました。あれ
は何ですか？

皆実町一帯は、宮沖新開
という干拓地なんじや。西宮
神社と親しまれる三原八幡宮
(西宮一丁目)の沖に位置するこ
とから名付けられたんじやよ。



この地図を見てごらん。
沼田川や西野川河口は、
ほとんど干拓地や埋立地なん
じやよ。埋め立てては、堤防や
水門で囲った部分に土砂など
を入れて陸地を作ることじや。



江戸時代初期
江戸時代中期・末期
明治・大正時代
昭和時代

